

1 はじめに

台原中学校では、生徒が主体となって学校行事や様々な活動に取り組んでいる。その中で、生徒会が中心となって実施した行事とボランティア活動について以下に掲載する。

2 資料

(1) 生徒総会での校則の見直し(資料1)

今年度生徒総会は7月に実施したため、熱中症対策としてオンラインで全教室を繋いで行った。第1部では、各常任委員長から活動計画を提案し、承認を得る活動を行った。第2部では、頭髪に関する校則の見直しを行い、各学年から提案された意見を元に議論を行った。生徒総会で行われた議論を元に、夏休みに生徒会本部役員と教員による意見交換を行い、2学期の集会で校則の変更点を生徒に伝達した。変更された点は以下の通りである。

- ・ツブブロック、ツブブロックに関わらず、中学生らしい爽やかな髪型にする。
- ・男女ともに同一基準にし、前髪は目にかからないようにする。
- ・縮毛で悩んでいる生徒は、学級担任に本人・保護者が相談し、学校長の承認を得て許可する。

自分たちで校則を見直し、話し合うことでルールを更新することという経験をすることができた。

(2) 各種ボランティア活動の実施

生徒会とボランティア委員が中心となり、学校をよりよくするために必要な各種ボランティアの募集・実践を行っている。また、今年度は学校のためだけでなく、社会のためにできることに目を向け、新たなボランティア活動も実施した。

ア 花の苗植えボランティア(資料2)

季節に合わせて花の苗植えを実施し、自分たちで植えたプランターを昇降口や通路に飾った。その後の水やりや花がら摘みも自分たちで実施した。学年を越え、協力して管理を実施することで、異学年交流を活性化することができた。

イ ペットボトルキャップ回収ボランティア(資料3)

生徒会本部役員の発案で、ペットボトルキャップを回収して、発展途上国へワクチンを届ける活動に参加した。自分たちで実施時期や実施方法を考え、全生徒に提案した。回収したペットボトルキャップは、協力を依頼したカスミ大沼店まで運び、手渡しすることで、社会貢献したことや、達成感の育成に繋げることができた。

ウ 能登半島地震義援金ボランティア(資料4)

能登半島地震の被災者のためにできることはないかと考え、生徒会本部役員が中心となり、募金の呼びかけを行った。自分たちにできることを考え、実行することの大切さを学ぶ機会となった。



資料1 生徒総会(オンライン)



資料2 花の苗植えボランティア



資料3 ペットボトルキャップ回収ボランティア



資料4 能登半島地震義援金ボランティア

3 成果

今年度はボランティアを数多く実施し、毎回多くの生徒が参加することができた。それにより、自分たちで生活を改善するために必要なことや、人の役に立つことを考え、実践する力を養うことに繋げることができた。